

カトリック小田原教会からのお知らせ

2013. 5. 1. No.36 <http://catholicodawara.org>



教会委員会

< 5月の典礼 > 聖母の月

*** 毎週金曜日 共同体のミサ 10:00**

5/5(日) 復活節第6主日のミサ 10:00

司式：保久神父

*高野神父は真鶴教会へ

5/12(日) 主の昇天集会祭儀 10:00

*高野神父は国府津教会へ

5/19(日) 聖霊降臨の主日ミサ 10:00

司式：高野神父

5/26(日) 三位一体の主日ミサ 10:00

司式：オボス神父

*高野神父は平塚教会へ

*土曜日のミサは18時からです。

◇教会学校のスタート

本年度の教会学校が8名のスタッフで始まりました。子どもは6年生が1人、5年生が2人、4年生3人、2年生1人の7人です。なお、幼児クラスは2人です。4年生は初聖体の準備に入りました。

◇中高生会

小田原教会の学生が14人、真鶴・国府津の学生が7人となります。目下、リーダーの人選と活動計画の検討をしています。

☆金祝！ ジュセッペ神父 おめでとうございます

(2013年3月30日、叙階50周年)

4月21日、高野神父と教会委員長他5名がお祝いに出席しました。梅村司教、ミラノ会管区長、テハン神父、ジュセッペ神父の4人の共同司式による感謝のミサが行われました。50年前(1963.3.30)に、ミラノ会の神父に叙階。神学校で教師、アメリカで司祭、その後1965年に日本へ。そして今日までずっと日本での司牧。いつも明るい神父様は、この日、二宮教会の信徒会からプレゼントされたローマンカラーのシャツをお召しになって感謝のミサを捧げられたそうです。

(詳細は教会委員長の報告が掲出されています)

◇第2回 高野神父とおしゃべりする会

4月21日、ミサ後 マリア学院で23人が昼食をとりながら出席。日本におけるカトリック信徒の家庭の仏壇やお墓のこもりが話題となりました。いくつかの文化や宗教が混在している日本の社会では、地域社会との交流も必要なことです。「お骨の納めた所が大切なのではなく、わたしたちの生き方がどこに根付いているかが問題である」と神父が話された。誰ともなく、あの「千の風になって」の一節が口ずさまれてきた第2回目の会でした。

◇ロザリオ会の集い 5月3日(金)・・・ミサ後
ゴールデンウイーク真ただなかですが、集いを
持ちます。ぜひ、ご出席ください。

◇第1回の教会委員会開催・・・4月20日

- ・四旬節の愛の献金、ありがとうございました。
- ・信徒教会活動のすすめ
活動一覧表(マリア学院テーブル)に記名を。
成人全信徒の参加を願っています。新たに加わる
人、大歓迎です。
- ・2013年度研修会(共同宣教司牧サポートチーム神
奈川)への誘い
募集要項をご覧になり、ご出席を。「一人ひと
りが伝える道具となって欲しい」と神父から助
言がありました。
- ・教会委員会の議事録は、マリア学院の掲示板に
掲出します。

◇第6地区全体会 5月12日(日) 13:30

会場は小田原教会です。グループ別の話し合いを
6部屋に分かれて行います。テーマは「わたした
ちの歩み—第6地区主日の交わり—」です。